

| 平成27年度 上市高等学校アクションプラン 年度末評価 | | — 4 — |
|-----------------------------|---|----------|
| ① 重点項目 | 特別活動 | |
| ② 重点課題 | <ul style="list-style-type: none"> ・学校行事の充実と積極的な参加を促す。 ・部活動やボランティア活動、異年齢交流を通じて、学校生活の充実を図る。 | |
| ③ 現 状 | <ul style="list-style-type: none"> ・学校行事に対して、リーダーシップを取れる生徒が少ない。 ・立案、実行までスムーズに流れていくが、行事が近づくにつれて時間的余裕がなくなる。反面、徐々に協力する生徒の数が増えてくる傾向があり、各種行事に対する満足度は68%である。 ・安易に退部したり、登録はしているが、活動していない生徒も多く見られる。継続して部活動を続けている生徒は、全体の73%である。 ・ボランティア活動に興味を持つ生徒が多い。 | |
| ④ 達成目標 | ① 行事に対する満足度 | ② 部活継続率 |
| | 90%以上 | 75%を維持する |
| ⑤ 方 策 | <ul style="list-style-type: none"> ・生徒会及び部活動、各種委員会と連携を図りながら、活動の輪をひろげる。 ・生徒が自主的に活動に参加しているという充実感をもたせる工夫をする。 ・部活動の必要性や魅力を知らせ、体力や技術、意識の向上とともに、人間的な成長と個性の伸長を実感させ、学校生活の充実を図る。 ・地域との連携を図り、積極的に校外でのボランティア活動や地域交流、異年齢交流に参加する。 | |
| ⑥ 達成度 | <ul style="list-style-type: none"> ・地元ショッピングセンターを活用した各種情報発信を行うとともに、文化部を中心に作品展等を行った。恒例となった商工会イベント「市姫さんど」では、メインの11月の他にも、参加回数、参加種別ともに拡大することができた。 ・地域交流など校外へ出向いての行事参加は、有効回答数412名、参加104名(実数)のうち91名が満足したと回答しており、満足度は87.5%であった。 ・部活動の4月から12月にかけての継続率については下記のとおり(1, 2年生) 〔運動部〕83.2%、〔文化部〕63.1%〔全体〕73.6% ・各種全国大会・北信越大会への参加者は、26年度のべ16人から本年度のべ35人へ倍増している。 | |
| ⑦ 具体的な取組状況 | <p>地域との交流として、地元ショッピングセンターを拠点とした活動発表を継続して実施した。特に今年度は、6月・7月・9月・11月・1月と複数回実施し、内容は、空手演武、吹奏楽演奏、合唱、ダンス、書道パフォーマンスや理科選択者による理科工作を実施した。</p> | |
| ⑧ 評 価 | B | B |
| ⑨ 学校評議員の意見 | <ul style="list-style-type: none"> ・上市町で開催される様々なイベントに多くの生徒がボランティアとして参加してくれており、たいへん感謝している。 ・部活動や委員会活動などがやりやすい環境作りに努めてほしい。 | |
| ⑩次年度以降に向けての課題 | <ul style="list-style-type: none"> ・第一体育館天井パネル工事のために、活動場所が制限されることへの対策。 ・運動部、文化部に限らず、指導者の知識や技術を充実し活動の活性化を図る。 ・生徒会活動やボランティア活動をさらに活性化し、外部に発信していく。 ・部活動のみならず多くの生徒が活躍できる環境作りに努める。 | |

(評価基準 A：達成した B：ほぼ達成した C：現状のまま D：後退した)